

# 東京武蔵野多摩ワイズメンズクラブ

東京YMCA西東京センター内 〒186-0002 東京都国立市東1-4-20-102

2013年10月 (No.4)

TEL 042-577-6181 FAX 042-577-5574

## 今月の聖句

そのとき、弟子たちがイエスのところに来て、「いったいだれが、天の国で一番偉いのでしょうか」と言った。そこで

は一人の子供を呼び寄せ、彼らの中に立たせて、言われた。

「はっきり言うておく。心を入れ替えて子供のようにならなければ決して天の国に入ることは出来ない。」

マタイによる福音書18章1節-3節

## 主題

国際会長	Poul V. Thomsen	「全ての世界に出て行こう」
アジア地区会長	岡野 泰和	「未来を始めよう、今すぐに」
東日本区理事	渡辺 喜代美	「いざ立て」
あずさ部長	藤江 紀美子	「心を一つに あずさ部号前進」
武蔵野多摩会長	伊佐 節子	「健康第一！ちょっとだけ無理して頑張ろう！」

## ワイズメンズクラブモットー

強い義務感をもとう 義務は全ての権利に伴う

五つの誓い

1. 自分を愛するように隣人を愛そう
1. 青少年のためにYMCAにつくそう
1. 世界的視野を持って国際親善をはかろう
1. 義務を果たしてこそ権利が生ずることをさたろう
1. 出席第一と奉仕第一とを旨としよう

## ワイズメンズクラブの目的

1. 個人的にもまたクラブとしても、その奉仕活動を通じてYMCAの活動を支援する。
2. ワイズメンにふさわしい他の団体を支援する。
3. 地域社会や国際的な問題に関心を持ち、一党一派に偏らない正義を追求する。
4. 宗教・社会・経済・国際などの諸問題について会員達を啓発し、積極的に参加させる。
5. 健全な交友関係を作り出す。
6. この協会の国際・地域・区の事業を支援する。

## 9月の出席率

在籍者10名 出席者9名 メネット1名 メイキャップ4名 ゲスト20名 出席率 100%

## 「リーダーとの交流」

伊佐 節子

9月の例会は、リーダー研修会報告と八王子クラブと共催のリーダー懇親会が行われた。

例年、YMCAで行われる夏の行事には、多くの青年リーダーが参加して、プログラムが展開されている。今期、延べ

180数名のリーダーが参加されたとお聞きした。多い人で、4回の参加とか…。大学生を中心としたボランティアリーダーは、子ども達にとって先生や親といった上の存在でなく、普段接している友達でもなく、兄や、姉の存在として関わって活動している。 学生生活を謳歌している青年が、自分のためだけでなく、他者への関わりを求めて、YMCAの活動に参加し奉仕している姿を見るにつけ、簡単に出来ることではないと感心してしまう。

西東京センターの活動の特徴の一つに、障害者プログラムがあり、障害者理解では戸惑いや、悩み、行動の制限など様々な問題に直面する。

子ども理解、プログラムの検討、準備、仲間との協調、安全、等々、その折々に生じる問題を悩みながら、より良い活動プログラムへ挑戦している青年リーダーの研修報告、キャンプ報告をお聞きして、頑張れ！ 有難う！と心から思った。

研修報告の後、八王子クラブ・武蔵野多摩クラブ共催のリーダー懇親会では50名近いメンバーで歓談。楽しいひとときを過ごした。夏のプログラム活動ご苦労様でした。 YMCAに連なる私たちワイズメンも出来る限りの応援をしたいと思います。

### **\* 9月八王子クラブ武蔵野多摩クラブ合同例会・リーダー懇親会のようす\***

日 時 9月11日(水曜) 18時45分 場 所 西東京センター

司 会 清水ワイズ 聖書と祈祷 伊佐ワイズ 受付 石丸・山本ワイズ

#### **～例八王子クラブとの合同例会・リーダーのスピーチと抱負・懇親会～**

今夜の準備に4時半集合、若者たちの輝いた顔を思い浮かべながら手分けして買い出しに、「もっと食べるよ」と買い足しに。夏のキャンプで疲れたリーダー達に感謝と労をねぎらおうとクラブ発足時に始まった会がこんなに発展！胸がワクワクする。

富士山YMCAでの三日間のフォーラムに西東京センターから2年生リーダー2名が参加した。

今日はすみれ(発達障害)担当リーダー野村光君が発表。

「基調講演・Weeingになるために」WeeとYouのと、つまりかい離を取り去るには、を段階的に話され、それをグループの中で深めていった数日間だった。メンバーは東日本のYMCAに所属しているが活動からゲームにいたるまで異なっていたのは驚てしまった。

カウンセラーから提示された物語の途上人物中、許せない人物を1位から5位まで自分なりに決め、その本質を探り究めようとディスカッションした。

評価シートづくりをし、聞く力、伝える力、感じる力を自分自身だけでなく他者の評価もし、それ数値で目に見える形で表すことを学んだ。

座学ではYMCA理解。リーダーの理念と役割の話がありその間に付箋に答えや疑問や解らなかつたことをかいてグループに戻りディスカッションしながらチャート仕上げた。座学は聞くチャンスの場問題提起の場だと思った。

まだまだ沢山報告したいことはありますがこれを西東京センターに持ち帰ってみんなとうんと話し合おうと思いました。

小口事業委員感想 現地までのバスの中ですでにグループ分けなど下固めが出来ており議論が始まるなど全員にここにきて降りてきた。期間中ワイズは手出し口出しなしの約束。全て自分達の中から答えを導き出していた。見事だった。

夏のキャンプ報告、リーダー暦3ヶ月新米リーダー古山君(ディーゼル) 1回目はグリーン道志村キャンプ、心配と期待と不安で眠れなかったが成功すれば自分が変わる予感がした。途中メンバーの意見が対立しげらげらになりそうだったが先輩リーダーの知恵と意見に助けられた。2回目のシャベルズ亀の子キャンプは障がい児と3泊4日共に暮らす中、何が起きるかとても不安だったが今回は体当たりで行こうと決めていたのでよく眠れた。こころにしみたこと。身しょう児への自分のイメージとは全くちがっていた、特別な人ではなくわれわれと同じ心の持ち主でした。視線が水平になりました。リーダー3年目最後の夏キャンプ窪田さん(ズー) 思い返せば、別世界、未熟、板ばさみ、就職活動、リーダー達との切

磋琢磨いろいろよみがえって来ます。最後のキャンプを満喫しようと張り切って四つのキャンプに参加しました。キャンプ中、心が折れる経験をし初めてキャンプはいやだなと思いました。一人になって布団の中で目をつぶると子供たちの私をじっと見る目、まとわりつく手、力いっぱい声がして、つらい顔をしてはいられないと切り替えてがんばりました。最後にキャンプファイヤーでトーチを持つ二人の女の子、私と同じキャンプ3年目最後です。キャンプでは泣かないと決めていたのに輝いている子供たちを見ると嬉しくて切なくて、まるで母親のように泣いてしまいました。語る彼女の顔はくちやくちやだった。

今回も思ったことYMCAは若者を育てることとゲームに関しては超一流、永く活動し続けウルトラ超一流になるには・・・、我々Ysは何をすればいいのだろう、なぜか・・・。

懇親会では語り議論するグループが8つ以上できてその中に若返ったワイズがいた。

## 西東京センターユース・ボランティアリーダーとの交流会

小口多津子（東京八王子）

9月恒例の西東京センターユース・ボランティアリーダーと武蔵野多摩クラブと東京八王子クラブとのトライアングル交流会が9月11日にあり、リーダーさんと両ワイズメンの40名近い人数で部屋が満杯の状態でした。最初、鳩山さんからこの夏のリーダーさんたちの活動状況が報告され、沢山のキャンププログラムの為に、リーダーさん達が帰省も出来ないほどの忙しい活躍がなされたことがわかりました。続いての報告会は、まず、8月30日～9月1日までの第26回富士山YMCAでのユースボランティアリーダーズ・ホーラムでの体験を野村光君が報告されました。広大な敷地の会場で東日本にあるYMCAブランチから集合した34人の新米リーダーと横浜Yのスタッフ、カウンセラーと過ごしたことの感想は、各地のYのリーダーさんの話が聞けて、横のつながりを心強く感じたこと。YMCAの知識も増えたことがこれからのリーダーのやりがいに繋がったこと等を語られました。続けて、夏のキャンププログラムに係られたディーゼルこと古山尚基さん、障がい者との3泊4日が共に過ごせるかと不安だったが、自分から話しかけると答えが返ってきて、彼らは素晴らしい人達だと心から感じた。続いて、ズーこと窪田麻美さんはリーダー歴は3年を過ぎたベテランのリーダーさん。でもキャンプ中はいつも新鮮な気持ちで望むので時々心が折れそうになるほど辛いときがあるけど、自宅に帰ると子供達の姿が目に見えてきて、キャンプを楽しみに待っている子供達を引っ張っていかなくてはと、思いを新たにさせられた、との言葉でした。自らの意志で手を挙げて、リーダーを志した皆さんが、ぶつかる問題や辛さを、糧に替えて絶えず勉強している姿に、この先の頼もしさを感じました。

リーダー懇親会

山口 直樹

9月11日に八王子クラブと共催で、西東京YMCAリーダー感謝会・懇親会を開催した。リーダー、西Yのスタッフ、ワイズメン合わせてたぶん40名以上の人数で、今年も盛況であった。現役のリーダーたちとの直の交流ができる私たちの贅沢を改めて実感できた時であった。

いつもの感想であるが、リーダーがYMCAでの活動を通じて自分発見を実践できている点である。子供たちとの触れ合い、YMCAの場において、一つのプログラムを企画、検討、実践していくことを通して、確かな成長を自分の体、全体で感じ、私たちに伝えてくれている。2時間半ではあったが、そう感じさせる空間と時間であった。また、彼らに接することができた子供たちも、日常生活ではとても体験できない、人間としての成長に必要な体験ができたと確信させられた。

改めて、この時を持つことを感謝。クラブの課題としては、このつながりをどのように発展させるかである。すぐにメンバー獲得にはつながらないかもしれないが、交流の場を増やしていくことは続け

たい。リーダーたちに元気をもらって、武蔵野多摩号 さあ前進！

### <東京 YMCA 便り>

鳩山 徹郎

暑かった夏がうそのように涼しい毎日になりました。急な気候の変化に、衣替えを急がれた方も多いのではないのでしょうか。季節の変わり目で体調など崩されませんように、ご自愛くださいませ。

「ペタペタの会」・・・10/19(土)14時～17時に実施いたします。3月の実施に引き続き、二回目の実施となります。今回もペタペタと楽しく、国分寺遺跡をメインにゆったりと歩きます。秋の気持ち良い陽気の中、おしゃべりをしながら楽しめます。ご家族やお仲間もぜひお誘いくださいませ。

「会員の集い」・・・10/19(土)18時半～20時半に実施いたします。西東京センター登録の会員の皆様及びそのお仲間を対象とした、現在の西東京センターの活動報告やボランティアリーダーのスピーチなどを交えた親睦会です。当日は西東京センター及び立川、武蔵野 YMCA にゆかりのある会員や職員をゲストにお迎えいたします。初めての企画になります！ぜひ応援下さい。

「西東京ファミリーフェスティバル」・・・11/3(日)13時半～17時半に実施いたします。毎年恒例の西東京センターで年に一回実施されるお祭りです。ご存じ「高尾の森わくわくビレッジ」に、たくさんの家族、またリーダーたちが集まります。大変賑やかな一日ですから、ぜひ様子を見に来てください。

10月8日には冬のプログラムの申し込み受付が始まります（一般受付は10月10日）。スポーツクラブや学校が実施するキャンプとは一味違う YMCA のスキーキャンプにご期待いただき、ご家族、また周りの皆様にもお勧め下さい。今月もお支え、お願いいたします。

#### <西東京センター及び東京 YMCA の主な予定>

- 10/1 冬キャンプリーダーキックオフ
- 10/5 野尻ユースキャンプ思い出会
- 10/8 冬キャンプ申込優先受付開始
- 10/10 冬キャンプ申込一般受付開始
- 10/12-14 秋の山中湖キャンプ
- 10/12-14 全国リーダー研修会（京都）
- 10/13 知的障がい児・者 余暇活動「あおぞら・つばさの会」10月例会  
国際協力募金（例会後、三鷹駅にて）
- 10/14 会員ソフトボール大会
- 10/16 西東京センターサポートチーム委員会
- 10/19 例年楽しみのリーダー達の活動発表後、八王子クラブ、ペタペタの会、西東京センター会員の集い
- 10/19-20 知的障がい児・者 余暇活動「シャベルズ・いずみの会」10月例会（一泊会）
- 10/26-27 幼児野外活動「にこにこ」小学生野外活動「ロビンソン」合同10月例会（一泊会）
- 10/27 軽度発達障がい児 野外活動「Smile」10月例会  
国際協力募金（例会後、国立駅にて）

#### <10月例会>

10月9日7時 西東京センター 司会 宮内 聖書・祈祷 山口 受付 野尻・松田の格ワイズ  
パワーを感じる例会 渡邊大輔氏の入会式と卓話（ユースは面白い）ですお楽しみに！